



送信先：帝京大学医学部附属病院薬剤部 担当者

FAX: 03-3964-9426

受付時間：平日（月～金曜日） 9：00～16：00

土曜日 9：00～11：00

※日曜日、祝日、年末年始を除く

吸入薬の適正使用に関する情報提供

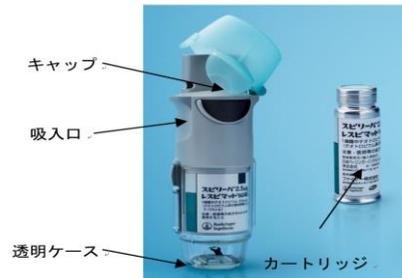
情報伝達の流れ：保険薬局→薬剤部→主治医

<注意> このFAXによる情報伝達は、疑義照会ではありません。
使用前に必ず、当院薬剤部のホームページから運用方法の確認をお願い致します。

トレーシングレポート（服薬情報提供書）

■スピリーバ レスピマット

処方医： 科 御机下
 患者名： ID(診察券番号)：
 保険薬局名称：
 所在地
 電話番号： FAX：



●吸入前の準備 チェック（計4項目）

操作	確認事項	OK	難あり
①透明ケースを外しカートリッジを挿入する。再び透明ケースを装着させる。	カートリッジを奥までしっかり挿入する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②試し噴霧の準備 透明ケースを180度回転させる。	カチッと音がする まで回す。180度以上回す人がいるがそれは間違いである。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③キャップを開けてボタンを押し、試し噴霧する。キャップを閉める。	下に向けて噴霧する。終わった後にキャップを閉める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 噴霧が確認出来たら 、②～③の操作を更に追加で3回繰り返す。	つまり、最短で 5回目の操作から吸入開始 になる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

●吸入操作 チェック（計6項目）

操作	確認事項	OK	難あり
①透明ケースを180度回転させる。キャップを開ける。	カチッと音がする まで回す。180度以上回すのは間違いである。 キャップを上にして 閉めたまま回転させる。噴霧ボタンを押さずに回転させる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 軽く 息を吐く。	吸入口をくわえないで息を吐く。呼気した後に吸入まで息を止める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③吸入口をくわえて噴霧ボタンを押し、 ゆっくりと深く息を吸い込む 。	ゆっくり深く吸うのが正しい 。 吸入と噴霧を同調させる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④5秒程度息止め。キャップを閉める。	キャップを毎回閉める。 (メーカーの説明書では、苦しくない程度に息を止めると記載)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ ①～④の操作を繰り返す。	計2回噴霧。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥うがいをする。	(必須ではないが副作用を軽減できる可能性がある)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

●その他の確認事項 チェック（計4項目）

確認事項	OK	難あり
① 開封時のみ 、試し噴霧する。※デバイスが60吸入の場合はこの4回の噴霧は60吸入に含まれない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②残薬がなくなると透明ケースは回転しなくなるが、使用終了する日付はある程度把握しておいた方が良い。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③1週間以上使用しなかった場合、説明書に従い、試し噴霧する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④朝何回、夕何回など吸入回数をしっかり把握する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

●副作用確認(副作用がある場合は☑でチェック、判断が難しい場合は下記の連絡事項の欄に記載)

口渇 尿閉(頻尿、残尿感などの症状) 緑内障(眼痛・視覚異常などの症状) その他()

●保険薬局から処方医への連絡事項

●保険薬局への返信欄(空欄で送付)

医師からの吸入指導への同意

【その他】

返信日時 月 日 担当薬剤師

